

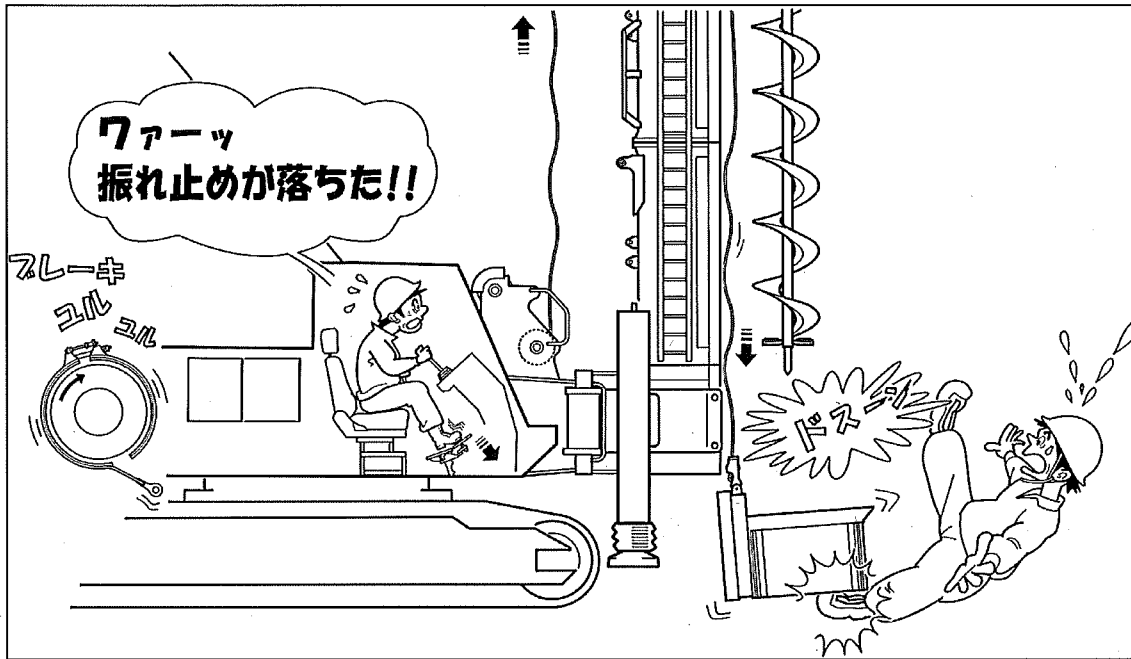
事例-5

事故内容 オーガ下部振れ止め落下

地中連続壁工法でオーガ掘削中、ロッド継ぎ作業のため下部振れ止めを巻き上げ操作したが、下がらなかった。
(振れ止めはサードドラム吊りで、自動ブレーキモードで操作)

サードドラムのブレーキバンドを一旦弛めたら、振れ止めが降下したため、作業を続行した。
暫くして、突然振れ止めが地上に落下し、丁度、振れ止めの下に入った作業員を直撃した。

- ・事故現場 : 地中連続壁工事
- ・被災状況 : 足首の骨折



事故原因

- ①ブレーキバンドのドラム下部連結レバーピン2個所が錆付いており、自動ブレーキ用バネの力が、ブレーキバンドに十分伝わらず、制動力不足で振れ止めが落下した。
この状態では、ブレーキバンドの解放も不十分であり、ブレーキ引き摺り状態になっていた。
- ②事故前に振れ止めが下がらず、ブレーキバンドの調整ナットを弛めたことで、更に制動力の低下を招いた。

対策

- ①普段『自動ブレーキモード』しか使用しない場合でも、時々『フリーフォールモード』に切り替えて、ブレーキペダル操作で『足踏みブレーキ』の効き具合を必ず確認する。
- ②月例点検では、ブレーキ系統(ロッドとレバーの各連結部ピン廻り)に錆止めスプレー(CRCなど)を吹きかけて、錆付きを予防する。
- ③吊荷を保持する時や、吊荷の下に人が入る時は、必ず『ブレーキペダルロック』と『ドラムロック』を併用する。

関係資料

- ①各機種取扱説明書 ⇒ 点検・整備項目
- ②ブレーキ系統図 ⇒ DH658/808の参考図

【ブレーキ系統図：DH658/808】

